

<p>【イベント名】 第10回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 第10回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンスでは胃の前がん段階に焦点を当てた。内視鏡による胃粘膜萎縮や腸上皮化生の診断、胃炎の病理学的病期分類や重症度分類、がん予防戦略の選択、そして様々なタイプの慢性胃炎患者の管理とフォローアップについて、参加者と専門家が議論を行った。</p>
<p>【期日】 2020.08.17</p> <p>【会場】 九州大学病院（日本）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、ヤロスラヴリ鉄道病院（ロシア）、ウラジオストク鉄道病院（ロシア）、ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター（ロシア）、ロシア国立医学研究大学（ロシア）、国立心臓・内科センター（キルギス）、中央アジア研究教育ネットワーク（キルギス）、順天堂大学（日本）、大阪国際がんセンター（日本）、モスクワブルデンコ病院（ロシア）、シンフェロポリ内視鏡専門センター（ウクライナ）、日本モンゴル教育病院（モンゴル）</p>	



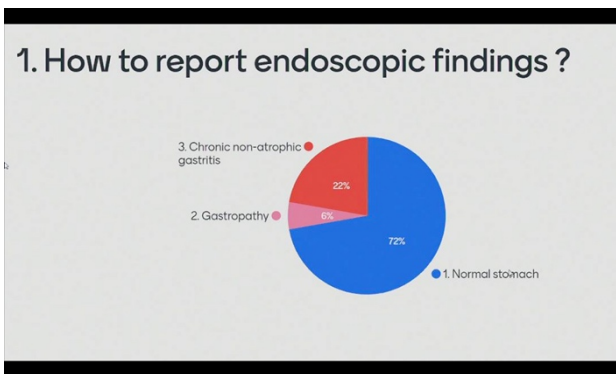
ヤロスラヴリ地域癌病院の様子。

撮影場所：ヤロスラヴリ地域癌病院



ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センターの様子。

撮影場所：ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター



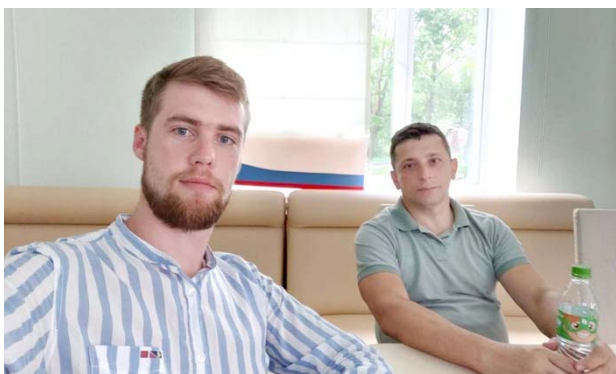
リアルタイム投票システムを使った質問。

撮影場所：九州大学病院



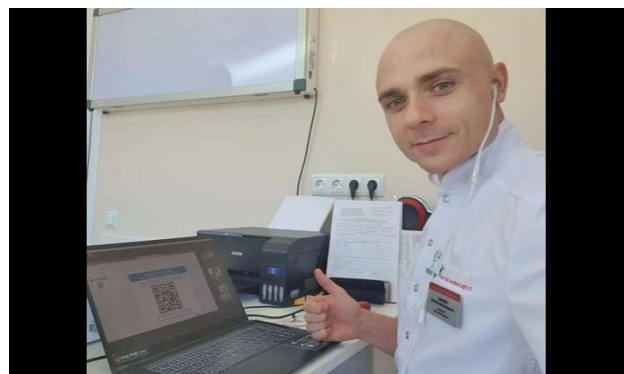
テレポインターを用いた内視鏡画像。

撮影場所：九州大学病院



ウラジオストク鉄道病院の様子。

撮影場所：ウラジオストク鉄道病院



シンフェロポリ内視鏡専門センターの様子。

撮影場所：シンフェロポリ内視鏡専門センター